

CT検査の医療被ばくに関する説明書

患者番号
患者氏名

医療法人 東札幌病院 放射線課

1. CT検査について

C T検査とは、放射線（X線）を使用して体の構造や、病変の広がり調べる精密検査です。X線を用いるため医療被ばくを伴いますが、被ばくによるリスクよりも、病気の発見や治療方針の決定といった利益の方が上回ると判断した場合にのみ検査を行います。

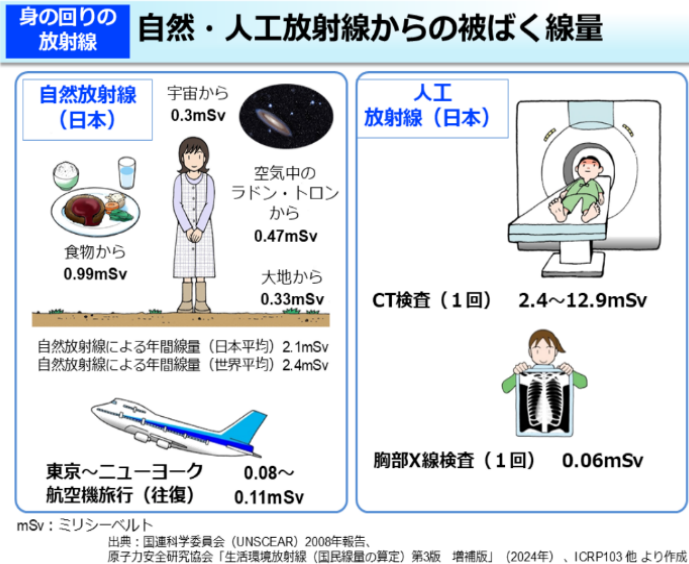
2. 医療被ばくについて

- 検査や治療などの医療的な理由での被ばくを医療被ばくといいます。
- 放射線を受けることによって、身体に発生する影響は以下の2つに分けられます。
- ・ 100mSv（ミリシーベルト）を超える被ばくでは、被ばく線量が増えるほど発がんのリスクが上昇します。しかし、100mSv未満の被ばくでは明らかな発がんのリスク上昇は認められていません（確率的影響）。
 - ・ 100mSv未満の被ばくでは、脱毛や皮膚障害など明らかな障害を認めることはありません（確定的影響）。

通常のC T検査では、1回の被ばく線量が100mSvを超えることはありません。

3. 被ばくの低減の取り組みとCT検査の被ばく線量

当院では診断に必要な画像が得られる、可能な限り少ない放射線量で検査するように努めています。そのため、必要以上の範囲は撮影せず、頻回の繰り返し検査は避けるようにしています。



検査部位	被ばく線量（mSv）
頭部	2.7
胸部	6.5
胸部～骨盤	13.6
腹部～骨盤	10.8
肝臓ダイナミック	24.5

環境省ホームページより引用

診断参考レベルから算出したC T検査の被ばく線量

2025年8月1日作成